

カナダの金融市場動向 Weekly Report

【2016年7月16日～2016年7月22日の推移】

【1】先週の回顧

先週のカナダ・ドル円相場およびカナダ5年国債利回りは前週末とほぼ水準となりました。

7月15日夜(現地時間)にトルコでクーデターがありました。未遂となったことで金融市場はリスク選好的な展開を保ちました。週初より米国、カナダで良好な経済指標が発表される中、米国企業の業績発表をこなしつつ株式市場が上値を更新し、リスク選好の流れで金利も上昇、米ドル円相場も107円半ばまで上伸しました。週後半は、黒田総裁のヘリコプターマネー期待に対する否定的な発言や、ECB(欧州中央銀行)のドラギ総裁による当面は追加緩和を見送るとの発言を受け、為替・金利は前週末の水準まで下落しました。また、原油価格が週を通じて下落したことはカナダ・ドル固有の悪材料となり、カナダ・ドルは対円では横ばいにとどまりました。

【2】今週の見通し

今週は、英国のEU(欧州連合)離脱に関するショックが収束に向かう中で、リスク選好的な動きがどこまで継続するかが注目点です。週後半には欧州の銀行のストレステスト結果が公表されるほか、週を通して欧州大手銀行の業績発表が予定されています。また、同じく週後半にはFOMC(米国連邦公開市場委員会)がありますが、市場では金利は据え置きが予想されています。そのため、追加緩和への期待が高まっている7月29日の日銀金融政策決定会合がより注目されそうです。

カナダの独自材料としては、アルバータ州の山火事の影響があり、月次GDP(国内総生産)が前月比でマイナス成長に転落する見込みです。しかしながら、これは一時的な要因と考えられ、新規の材料としては受け取れにくく、欧米の重要イベントや高値圏にある米国株の動向に振られそうです。

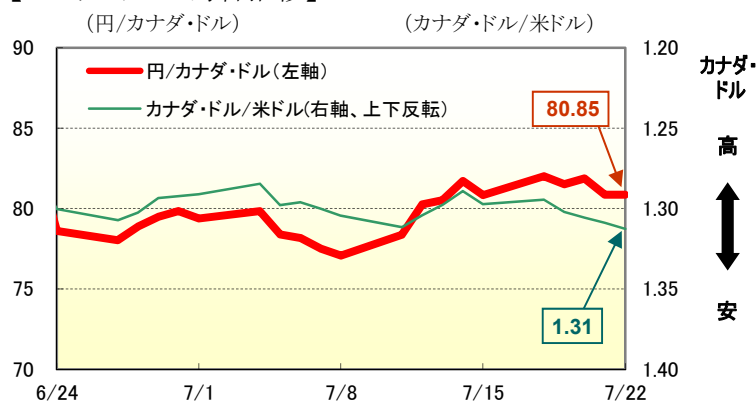
【3】主要経済指標

発表日	発表頻度	期間	指標名	データ
7/22	毎月	2016年5月	小売売上高(前月比)	0.2%
7/22	毎月	2016年6月	消費者物価指数(前年同月比)	1.5%
7/29	毎月	2016年5月	GDP(前月比)	-
7/29	毎月	2016年5月	GDP(前年同月比)	-

(参考) 前回
0.8%
1.5%
0.1%
1.5%

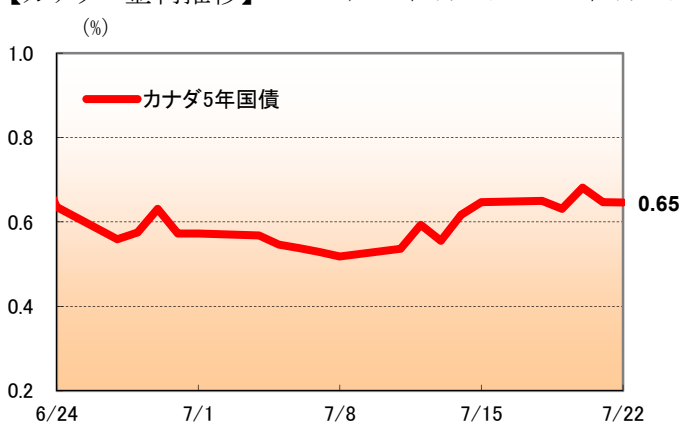
(出所) Bloomberg等より大和投資信託作成

【カナダ・ドル 為替推移】 (2016年6月24日～2016年7月22日)



※四捨五入の関係で数値とグラフの目盛りが一致しない場合があります。

【カナダ 金利推移】 (2016年6月24日～2016年7月22日)



当資料のお取り扱いにおけるご注意

■当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものであり、勧誘を目的としたものではありません。■当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。■当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は当資料作成時点のものであり、将来の成果を示唆・保証するものではなく、また今後予告なく変更されることがあります。■当資料中における運用実績等は、過去の実績および結果を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

販売会社等についてのお問い合わせ⇒大和投資信託フリーダイヤル0120-106212(営業日の9:00～17:00) HP <http://www.daiwa-am.co.jp/>